



よっちょれ♪よっちょれ♪ 新型コロナウイルス

日の暮れが随分早くなり、朝夕の涼しさや彼岸花に秋への季節の移り変わりを感じます。季節の変わり目でもあり、夏の疲れがでてくる時期です。体調管理をしっかりとしながら、長い2学期を元気に過ごしましょう。新型コロナウイルス感染症は、高知では感染状況も落ち着いてきましたが、全国的には「下げ止まり」という言葉がニュース等でも聞かれるように、まだまだ予断を許さない状況です。気を緩めることなく、三密の回避、手洗い・消毒の徹底、健康管理に努めていきましょう。引き続き発熱や風邪症状等の体調不良の場合は登校せず、家庭での療養・静養をお願いします。



教育委員会の『よさこい鳴子踊り』推進事業を活用し、高知県の『よさこい鳴子踊り』の牽引者のお一人である時久紀恵先生（ダンススタジオ アスティア）を講師にお迎えし、『よさこい鳴子踊り』の習得に取り組みました。時久先生には、3週間連続で2時間ずつ3回来校いただき、丁寧に教えていただきました。時久先生の“さすがプロ”という指導を受け、子どもたちの踊りは回を重ねるごとにぐんぐん上達していきました。鳴子の上手な鳴らし方、手や足の動き、掛け声などを、意識して踊っている様子が伝わってきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として学校全体の運動会を開催することができませんでしたが、その代わりに理療科を除く各学部で体育学習発表会、ミニ運動会を開催することとしました。『よさこい鳴子踊り』は、その中の種目の一つとして披露します。9月30日には中学部・高等部普通科の体育学習発表会が行われ、平日にもかかわらず多くの保護者の方に参観していただき、生徒たちは練習の成果をしっかりと披露し、やり切った表情を見せてくれていました。10月23日には幼稚部・小学部のミニ運動会が予定されています。今年度はご家族の方だけの参観となっておりますが、幼児児童に大きな声援をお願いします。皆のよさこいパワーで新型コロナウイルスを退散させましょう！

「視覚障害ナビ・ラジオ」

～私を変えた全国盲学校弁論大会～

毎年10月に開催される全国盲学校弁論大会は、今年は岐阜での開催予定でしたが、新型コロナのために中止になりました。その予選である中・四国の大会も中止でした。10月11日(日)19:30~20:00 NHKラジオ第2放送で、過去の受賞者の「その後」を訪ね、弁論大会が人生にどのような影響を与えたのかが放送されます。是非、お聴きください。



いい授業しよう！

本年度、本校では『いい授業しよう！』をキーワードとして、本校の目指す幼児児童生徒像、一人一人の目標に向けた授業づくりに取り組んでいます。

本校での『いい授業』は、視覚障害教育の専門性と、各教科の専門性に裏付けられたものだと考えます。視覚障害教育の専門性については、各教員がまずは担当している幼児児童生徒の指導に必要な専門性を高めしていくよう、年3回チェックシートを活用した取り組みを進めています。また、点字やICTのミニ研修会や県外講師のオンライン研修会を実施しています。

新しい学習指導要領では「主体的で対話的な深い学び」を推進するための授業改善が求められています。が、夏季休業中には広島中央特別支援学校（盲学校）の指導教諭・樋口正美先生を講師に「新学習指導要領を踏まえた授業づくり、授業改善について」研修会を開催しました。当初は対面での研修会を予定していましたが、新型コロナウイルスの関係で広島からのオンライン研修となりました。この研修会で学んだことを生かすべく、それぞれの教員が2学期に1回ずつ公開授業とその前後に学部で研究協議を行い、授業改善に取り組んでいます。日々の地道な取組が学校全体の授業力・教育力の向上となり、幼児児童生徒の夢の実現に繋がると考え、今後も『いい授業しよう！』を合言葉にチームで頑張ります。



備えあれば憂いなし！



9月1日は防災の日、高知県シェイクアウト訓練が全県下的に実施され、本校もお昼休みに緊急地震速報が流れ、その場で①姿勢を低く②頭を守り③動かないで安全確保をする行動をとる訓練を行いました。

8月末豪雨や休校になった台風9号など高知県にいつ大きな自然災害が起きてもおかしくない状況です。コロナ禍でのご家庭での備蓄品や避難場所等の確認を今一度よろしくをお願いします。